

2022年度 OPEN HOSPITAL

～緩和ケア認定看護師の紹介～

緩和ケア認定看護師
宮本 雅子



緩和ケアとは

生命を脅かす疾患による問題に直面している患者とその家族に対して、痛みやその他の身体的問題、心理社会的問題、スピリチュアルな問題を早期に発見し、的確なアセスメントと対処（治療・処置）を行うことによって、苦しみを予防し、和らげることで、クオリティー・オブ・ライフ（QOL:生活の質）を改善するアプローチである。

(WHO2002)

緩和ケアは、病気の状態や時期に関係なく、がんと診断された早い時期から、患者さんご家族に対して、病気の治療と並行して行われる治療・ケアです。



がん罹患・治療に伴う変化～身体面～

◆がん罹患による身体的苦痛

疼痛・呼吸困難・食欲不振・嘔気・嘔吐・便秘・
倦怠感・骨折など。

* 原発・転移部位によっては、病期とは関係なく早期から
出現する

◆治療に伴う身体的苦痛

治療の副作用による疼痛・嘔気・嘔吐・倦怠感・
食欲不振・便秘など。

* 外来・短期入院で治療が行われ、退院後に副作用が
出現するケースも増えている

◆がん罹患に付随して起こる身体的苦痛

食欲不振に伴うい瘦や栄養状態の低下(褥瘡)、活動性
低下に伴う筋力低下・萎縮など

がん罹患・治療に伴う変化～精神面～

◆がん罹患に伴う心の変化

不安・恐怖・怒り・落ち込みなど病期を問わず、がん罹患の可能性を自覚した時点で出現しているが、気付かれにくい症状。

* 精神的な症状により、眠れなかったり、食事量が減少していることもある。聴いて確認することが早期発見の第一歩。

◆うつ・適応障害

◆せん妄

がんの進行や治療に伴う身体的変化により出現。

がん罹患・治療に伴う変化 ～生活面・その他～

◆家族との関係性の変化

家族に迷惑をかけてしまっていると罪悪感を感じたり、心配かけたくないと会話が減り、孤独感を感じている場合もある。ご家族も同じような思いを抱えている場合があり、お互いが辛い思いをされている方もおられる。

◆経済面の変化

治療費や入院費用に伴う経済的負担が生じる。

◆仕事面の変化

検査・入院・治療に伴い、仕事の中断や勤務形態の変更などが必要になる場合がある。

◆趣味や周囲との関係性の変化

治療に時間を要したり、体調不良や見た目の変化などにより、外出や付き合いに消極的になる方が多い。

◆治療や療養に関する多くの決断

緩和ケアの要件

- 痛みやその他の苦痛な症状から解放する
- 生命を尊重し、死を自然なものと認める
- 死を早めたり、引き延ばしたりしない
- 患者のために、ケアの心理的・霊的側面を統合する
- 死を迎えるまで患者が人生を積極的に生きてゆけるように支える
- 家族が、患者の病気や死別後の生活に適応できるように支える
- 患者と家族(死別後のカウンセリングを含む)のニーズを満たすためにチームアプローチを適用する
- QOLを高めて、病気の過程に良い影響を与える
- 延命を目指す、そのほかの治療(化学療法、放射線療法)とも連携する
- それによる苦痛な合併症をより良く理解し、管理する必要性を含んでいる

緩和ケア認定看護師の役割

患者さんを全人的に理解し、専門技術を用いて苦痛の緩和を図り、患者さんとご家族の『生活の質』の維持・向上に努める

患者さんとご家族が体験する悲嘆のプロセスを理解し、グリーフケアなどの適切な支援を行う

苦痛を軽減する専門技術を活かし、チームメンバーへの適切な指導や相談活動を行う

緩和ケアにおける看護の役割を理解し、施設内および地域におけるチーム医療を効果的に促進できるよう調整を行う

緩和ケアを受ける患者さんとご家族の人権を擁護するために、適切な倫理的判断を行う

病気をもちながら、どのように生活するか(療養生活の質)も「がん治療」と同じように大切に。そのために体や心のつらさを和らげる医療・ケア(緩和ケア)を治療早期から活用し、患者さんと家族がよりよい生活を送れることをサポートできるよう努めています。

